

*Future*

*Presentation*

*History*

株主通信

セコム株式会社

第51期決算報告

6<sup>2012年</sup>  
月



# グループの力を結集し、 創立50周年の今年度を “ALL SECOM” 飛躍的成長元年にする

「セコムフェア2012」、今年度の事業展開、  
“ALL SECOM”戦略について、  
社長の前田修司から  
ご説明させていただきます。

前田修司

セコム株式会社 代表取締役社長



## 5 月から開催しているALL SECOM

「セコムフェア2012」についてお話しください。

「セコムフェア2012」はセコム創立50周年を記念して企画したもので、7月開催の大阪・東京に先行して仙台・名古屋・福岡で開催しました。どの会場も多くのお客様にご来場いただき、改めて、セコムグループに対する期待の高さを感じました。

会場ではセコムグループの歴史、現在、そして未来と3つのゾーンに分けてその取り組みを紹介しています。セコムグループの今を伝える「プレゼンテーションゾーン」をご覧になったお客様からは「事業の広がり」と深さを感じた」というお言葉を頂戴しました。また、「フューチャーゾーン」ではセコムが考える近未来の「犯罪のない社会」「災害に強い社会」「健康で安心な社会」を、大型3面スクリーンを使い、最先端の技術で表現しました。お客様には「セコムだからこそ実現できる『安全・安心』の社会だろう」という印象を持っていただけたと思います。

私は改めて、社会やお客様の期待に応えていかなければならない、セコムグループの現在と将来ビジョンをもっと社会に発信していかなければならないという思いを強くしました。

## セ キュリティサービス事業では、新しいホームセキュリティシステムを発売し、話題を呼びましたね。

昨年12月に発売した「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」は、従来の「安全・安心」機能に「便利・快適」機能を付加した画期的なホームセキュリティで、中でも「マイページ機能」は企業の間で注目を集めています。これは、セコムと提携した企業が提供する、生活に役立つ情報をホームコントローラー上に表示するサービスで、お客様にとっては24時間いつでも資料請求や商品購入ができ、企業にとっては家庭向けの強力な営業媒体になります。今夏にも提携企業約100社でスタートし、その後は、1,000社まで増やしたいと思っています。

## これまでのセキュリティの概念を変える 新商品も発表されましたね。

今夏に発売を予定している「次世代型オンライン・セキュリティシステム」は、セットや解除の操作が不要で、敷地内を常時警戒状態にすることができるシステムです。

その仕組みは、建物の外周にセンサーとカメラが一体となった屋外画像センサーを取り付け、敷地内に入る資格のある人はICタグを所持します。ICタグを持たない人が侵入するとセンサーがこれを検知し、即座にセコムのコントロールセンターに異常信号と画像を送信します。管制員は緊急対処員に急行を指示するとともに、遠隔操作で侵入者への警告などを行います。加えて、本システムでは社員、家族、来訪者などによって警戒ゾーンを細かく設定することができます。

セットや解除が不要だけでなく、建物への侵入を検知するセンサーの設置数を大幅に削減できるなど、これまでのセキュリティの概念を一新するこのシステムは、セキュリティシステムが大きく変わる端緒になるかもしれません。

## その他の事業の現状や今後について 所感をお聞かせください。

防災事業では、東日本大震災や大型台風の教訓から、防災の「災」を「火災」ではなく「災害」と捉え、従来の防災事業の枠を超えた新しい防災システムの開発に取り組んでいます。

メディカルサービス事業では、訪問看護、訪問介護、介護計画の作成を一体的に提供できる拠点が必要と考え、東京・杉並に「セコム在宅総合ケアセンター久我山」を開設。また、これまでに培ってきた看護・介護・シニアレジデンスのノウハウを活かし、中国・上海でシニアレジデンス事業を始めることにしました。これは、世界でいち早く超高齢社会に突入した日本でのビ

ジネスモデルを海外で展開していく第一弾と位置付けています。

保険事業では、セキュリティと保険の親和性を活かしたセコムグループならではの新商品の開発に取り組んでいます。

地理情報サービス事業では、東日本大震災を経て、パスコの航空測量・衛星事業や地理空間情報サービス事業への関心が一段と高まっています。また、海外でも高度な技術力が高く評価されていますので、国内外ともに事業拡大を加速していきます。

不動産開発・販売事業では、東京・世田谷にあるマンション「グローリオ蘆花公園」の入居者を対象に、セコムグループのシニアレジデンスや介護付有料老人ホームへの優先入居予約制度「セコムあんしんライフ制度」を開始しました。今後は、セキュリティをベースに、メディカルサービスなどを付加したセコムグループならではの不動産事業を展開していきます。

情報通信・その他の事業では、データセンターサービス、安否確認サービス、BCP(事業継続計画)支援サービスの拡大に力を入れていきます。現在、急増するデータセンター需要に応えるため、新たな「セキュアデータセンター」の開設も検討しています。

## 創立50周年の今年、セコムグループが飛躍的に成長するための“鍵”は何でしょうか。

2010年11月以来、すべての事業が連携を強め、新しい市場の開拓とサービスの創造に取り組んできました。その結果、セキュリティ、防災、地理情報、情報通信・その他のグループ会社が連携して、それまで各社が個別に提供していたサービスをトータルに提案する「危機管理支援トータルサービス」のように、次々と成果が現れ始めています。

セコムグループの全社員が“ALL SECOM”を体得し実行することで、今年を「“ALL SECOM” 飛躍的成長元年」にしていきます。

# 創立50周年記念 ALL SECOM「セコムフェア2012」を 近未来の「安全・安心」の姿を披露

セコム創立50周年を記念して、5月15日の仙台を皮切りに、  
名古屋、福岡、大阪、東京の順でALL SECOM「セコムフェア2012」を開催しています。

## “ALL SECOM”で見せる セコムだからこそ提案できる 「安全・安心」

日本初の警備保障会社として日本の安全産業を牽引してきたセコム。独自のビジネスモデルを構築し、日本初の常駐警備サービス、現金護送サービス、オンライン・セキュリティシステムをはじめ、画期的なサービスやシステムを創出してきました。

創立50周年を迎えた今年、お世話になっているお客様などへの感謝の気持ちと、セコムが考える近未来の「安全・安心」をお伝えするため、「セコムフェア2012」を開催させていただくこととなりました。

会場では、セコムの歴史や最新の

セキュリティシステム、そして防災、メディカル、保険、地理情報、不動産開発・販売、情報通信・その他のサービスなど、セコムグループの取り組みを紹介しています。

## セコムの歩みとともに 日本の安全産業をひも解く

「セコムフェア2012」の会場は「ヒストリー」「プレゼンテーション」「フューチャー」と3つのゾーンに分かれています。

まず、お客様が通るのが「ヒストリーゾーン」。セコムの創業から現在までに起きた大きな出来事を厳選し、写真とともにその歩みをご覧ください。

そして「プレゼンテーションゾー

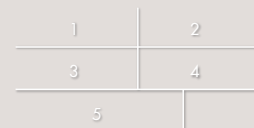
ン」では、現在セコムグループが提供している最新のシステムや商品に加え、現在開発中のシステムもご紹介。特にセキュリティ分野では、セコムの大きな強みの一つである画像認識技術を駆使したセキュリティシステムをご紹介します。

## セコムが描く 15年後の「安全・安心」な社会は…

最後にご覧いただくのが「フューチャーゾーン」。ここでは、私たちの生活環境を取り巻く「セキュリティ」「防災」「高齢社会(メディカル)」をテーマに、セコムが考える近未来の「安全・安心」な社会をご紹介します。

未来の緊急対処車両「ビートカー」

# 開催



1. 皮切りとなった仙台会場でのテープカット
2. 日本の安全産業を振り返る「ヒストリーゾーン」
3. 最新のセキュリティシステムを紹介
4. グループ各社も最新の取り組みを紹介
5. 注目を集める「フューチャーゾーン」



【開催日時】

仙台会場：2012年5月15日～16日

名古屋会場：2012年5月22日～23日

福岡会場：2012年5月29日～30日

大阪会場：2012年7月3日～4日

東京会場：2012年7月10日～12日

午前10時～午後5時

※仙台、名古屋、福岡での開催は終了しました。

や、災害時のお客様の安否確認、安心で健やかな毎日を送っていただくための未来のメディカルサービスなどを、AR(拡張現実)と呼ばれる最先端の表現技術を採用した映像でご覧い

たできます。

ご来場いただいたお客様からは「ますます期待できそうですね」「セコムグループの幅広いサービスを体感できました」など、温かい激励のお

言葉を頂戴しています。

セコムグループは総力を結集してさらなる「安全・安心」な社会の実現を目指します。これからのセコムグループにぜひご期待ください。

# 50 YEARS OF SECOM

## 1962 [7月7日] 日本初の警備保障会社が誕生

創業者、飯田亮と戸田壽一が日本初の警備保障会社として日本警備保障(株)を東京・芝公園で創業。巡回警備と常駐警備を開始。

## 1964 [10月] 東京オリンピックの警備を担当

東京オリンピックの選手村などの警備を担当。社会から高い評価と信頼を得て、飛躍のきっかけとなりました。

## 1966 [6月] 日本初のオンライン安全システムが誕生

日本初のオンライン安全システム「SPアラーム」を開発し、サービス提供を開始。ご契約先に防犯・防火センサーを取り付け、通信回線を通じてセコムが24時間遠隔監視。異常が発生すれば緊急対応員が駆けつけるというサービスです。

## 1978 [1月] 台湾進出を皮切りに海外にも事業を展開

台湾の中興保全股份有限公司と業務提携。台湾で初のオンライン安全システムを提供。現在では、セキュリティ事業では、11の国と地域で「セコム方式」の「安全・安心」を提供しています。

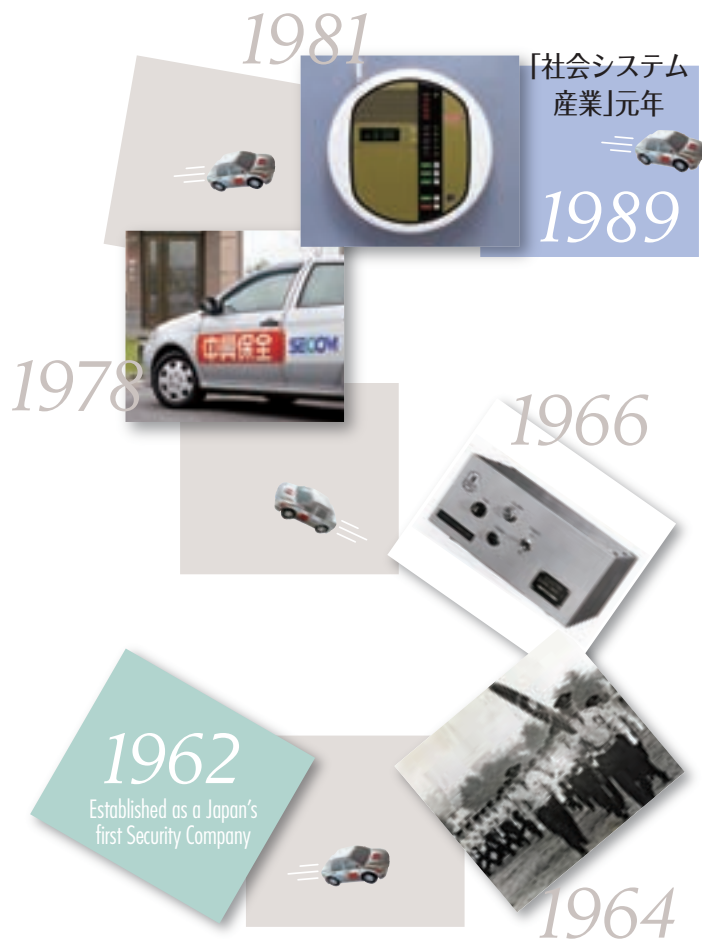
## 1981 [1月] 日本初のホームセキュリティが誕生

「セコム・ホームセキュリティ」の前身である家庭用安全システムを開発し発売。2012年3月末現在、日本国内では約80万8,000件(マンション住戸含む)の安全を見守っています。

## 1989 [1月] 「社会システム産業」元年を宣言

安全の情報通信ネットワークをベースに、安心で便利で快適な新しい社会システムを構築しようと宣言。この考えをもとに、セキュリティをはじめとする、暮らしに関わるさまざまなサービスを提供しています。

## 50年に及ぶ「安全・安心」サービスの開拓



### セコムが創った言葉

■ 警備 保障	創業時の社名にも使われた「警備保障」。“保障”という二文字には安全保障の“保障”と“補償”の思いが込められています。	■ SECOM	SECOMはSecurity Communicationを略した造語で「人と科学の協力による新しいセキュリティ・システム」の構築という意味を持ちます。
---------	--	---------	---

は、“日本初”へのチャレンジでもあった。



**1991** [6月] 民間企業として日本初の本格的な  
「在宅医療サービス」を提供開始

クリーンルーム(無菌調剤室)を持つ調剤薬局「セコムファーマシー」  
を開設し、薬剤提供サービス、訪問看護サービスの提供を開始。

**1998** [7月] 日本初の画像センサーを利用した  
オンライン画像監視システム「セコムAX」を発売

画像認識技術を使った安全管理システム。画像センサーが侵入者そ  
のものを異常として検出しセコムに異常信号を送信。画像でタイム  
リーに確認ができるため、より迅速な対応が可能になりました。

**2001** [4月] 日本初の位置情報提供システム  
「ココセコム」を発売

GPSと携帯電話の基地局を使い「ココセコム」の位置を確認できます。  
お客様の要請に応じて緊急対応も行います。

**2002** [4月] 日本初の食事支援ロボット「マイスプーン」を発売

手が不自由な方が、自分でロボットを操作することで、好きな  
ものを自分のペースで食事することができる食事支援ロボット。  
現在ではオランダをはじめ欧州7カ国でも利用されています。

**2010** [9月] 日本初の強盗自動検出システム  
「インテリジェント非常通報システム」を発売

セコムが培ってきた画像処理技術や音声処理技術を用い、非常通報ボタンな  
どを押さなくても、異常を早期に検知してセコムに通報する画期的なシステムです。

**2011** [12月] 「セコム・ホームセキュリティG-カスタム」を発売

日本初、写真や身分証明書などの個人情報を預かる「セコム・ホーム  
セキュリティG-カスタム」を開発し発売。セキュリティだけでなく、  
セコムグループの商品が購入できたり、ご家族との情報共有などが  
できる画期的なホームセキュリティです。

■ ホームセキュリティ	家庭向けのセキュリティシステムは 英語では「Residential Security (住宅向けセキュリティシステム)」。 しかし、これは分かりにくいと考 え、「Home Security」としました。	■ ビートエンジニア	"ビート"とは、「巡回(パトロール)する」という 意味。ご契約先に緊急対応する警備員は、セ ンサーや機器などの技術的な応急処置を行 うこともあることから"ビート"と"エン ジニア(技術者)"を組み合わせました。
-------------	---	------------	---

## セットや解除の操作が不要な革新的なシステム 「次世代型オンライン・セキュリティシステム」を開発

今年3月、セコムは従来のオンライン・セキュリティシステムの概念を一新するセキュリティシステムを開発しました。



外周に設置する屋外画像センサー

今回開発した「次世代型オンライン・セキュリティシステム」は、セコムがこれまで培ってきた広域監視技術や画像認識技術、そして個人認証技術を駆使することで、①侵入異常を早期発見、②屋外を常時監視、③セキュリティシステムのセットや解

除の操作を不要とした革新的なシステムです。

企業や家庭の外周にセンサーとカメラが一体となった屋外画像センサーを設置。認証用のICタグ所持者であれば通行を許可、所持していない人物が通行しようとするするとセンサーが検知し、セコムに通報します。

つまり、セキュリティの「セット」や「解除」といった操作を行うことなく、24時間いつでも安心してお過ごしいただくことができます。

このシステムは今夏にサービス提供を開始する予定です。セコムだからこそ実現できたセキュリティシステムにご期待ください。

## 監視カメラ画像をセコムが預かる 「次世代型監視カメラシステム」を開発

今年3月、セコムはご契約先に設置された監視カメラで撮影した画像をセコムの「セキュアデータセンター」でお預かりすることで、お客様の機器管理の負担を大幅に削減することができ「次世代型監視カメラシステム」を開発しました。

これまでの監視カメラシステムは、お客様の店舗やオフィス内に監視カメラと画像を記録するための画像録画装置(HDD)の設置が一般的でした。しかし、電源の入れ忘れや録画設定の間違いなどで画像が記録されていなかったり、HDDなどの有寿命部品の定期交換の手間などの課題がありました。

そこで、このような課題を解決しようと開発したのが「次世代型監視カメラシステム」です。ご契約先には監視カメラを設置していただくだけで、録画された画像はセコム独自の高度なセキュリティネットワークを使いセコムの「セキュアデータセンター」に預けることができます。

また、ご契約先にHDDを設置していただく場合などでは、お客様のスマートフォンなどを利用して、外出先からリアルタイムで画像を確認いただくことができます。

「セキュアデータセンター」を持つセコムだからこそ提供できるサービス。高まる監視カメラ導入のニーズにもきめ細かく対応させていただきます。



機器管理負担を大幅に削減する  
「次世代型監視カメラシステム」



## 防災業界大手のニッタン(株)がセコムグループ入り 次世代防災システムの構築を目指す

セコムは、今年4月1日付で、(株)住生活グループの連結子会社で消防用設備全般の工事施工、機器販売および保守点検業務を行う(株)LIXILニッタンの発行済普通株式の100%を取得

**NITTAN**

しました。そしてニッタン(株)に社名変更し、セコムのグループ会社となりました。

昨年の東日本大震災や大型台風による教訓から、従来の自動火災報知設備だけでなく、災害の即時通知・確認、広域対応、避難システムの構築など、これまでの防災の枠組みを超えた次世代の防災システムの開発が急務となっています。

ニッタンのセコムグループ入りにより、セコムのセキュリティ技術と能美防災(株)・ニッタン(株)それぞれの防災技術を結集させ、次世代の防災システムを開発し、新たな市場の開拓を行っていきます。

セキュリティ事業と防災事業は「社会システム産業」の中核を担う事業です。セコムと能美防災、ニッタンが連携することで、より革新的で高度な防災システムを開発し、社会に広く「安全・安心」を提供していきます。

また、セコムは(株)LIXILと共同で新会社(株)くらしテルを設立し、今年4月2日から、総合生活サービス「生活太助」の提供を開始しました。

お電話一本いただくだけで、住まいと暮らしに関するあらゆるお困りごとに対応する充実のサービスメニューで、豊かで快適な生活の実現をお手伝いします。

## 中国・上海にセコム初のシニアレジデンス 合併会社を設立し2015年に運営開始予定

セコムグループでメディカル事業の中核を担うセコム医療システム(株)は、中国・上海市浦東新区に上海陸家嘴金融貿易区開発股份有限公司(以下、陸家嘴)と合併会社を設立し、2015年に建設するシニアレジデンス「金色阳光」を共同で運営することで基本合意しました。

合併会社は、セコム医療システム(株)が70%以上を出資することで合意しています。本件は、セコムグループの運営するシニアレジデンスを海外に展開する初めての取り組みとなります。

これは、高齢化が急速に進む中国の中でも、とりわけ高齢化率が高い上海で、現地有力企業である陸家嘴と合併で、セコム医療システム(株)が国内で培ったノウハウを活かし高品質なサービスを提供するシニアレジデンスを建設・運営することになったものです。

「金色阳光」は、上海市浦東新区の中心に建設し、延床面積が約2万㎡、居室数は120室、そのうち介護居室は8室となる予定です。

今後両社は、中国・上海でのシニアレジデンス「金色阳光」

を皮切りに、同市内において医療サービス事業や健康・予防サービス事業の展開も視野に入れて取り組んでいきます。



「金色阳光」完成イメージ

## 火災から生命・財産を守るための 最新の火災報知・自動消火・消火システムを開発

### 火災のない安全な社会を実現する パイオニアですね。

能美防災(株)は防災事業を始めて以来、国の重要文化財などに火災報知設備を設置してきましたが、防災事業の本格的な展開は昭和30年代に入ってからです。以来、火災報知システムや消火システムを次々と開発し、今日では、オフィスビル、プラント、トンネル、文化財、船舶、住宅など、社会のあらゆる分野に提供しています。

### 「火災のことは能美に聞け」と言われるほど、 火災の研究では先頭を走っていますね。

火災感知関係の研究室が5つ、消火関係の研究室が1つあり、電気や機械など専門分野を持った研究員約100名が基礎研究と商品開発に取り組んでいます。

最近の開発例ではトンネル内の壁に設置する自動火災報知設備の検知範囲を従来の倍に広げることに成功しました。また、火災予兆検知システム「PROTECVIEW」を開発。これは感知器の感度を一般の感知器より1,000～2,000倍にして薄い煙でも検知できるようにしたものです。

消火関係では煙の混じった空気でも発泡消火が可能な新たな「高発泡消火システム」を市場投入したり、自動試験機能付き自動火災報知システムを開発するなど、常に最先端の技術を駆使した防災設備の研究開発に努めています。



セコムが常にセキュリティ業界をリードし続けてきた理由は、独自の研究開発体制で、新しいシステムを世の中に送り出してきたことにあります。今回は、セコムグループの防災事業を担う能美防災(株)の研究開発センターをご紹介します。

能美防災(株)  
研究開発センター長 森田俊一

*Toshikazu Morita*

### 研究開発に不可欠な試験や実験のための施設が充実していますね。

当社の強みは、研究開発から設計・生産・施工・メンテナンスまで一貫責任体制で防災システムを提供していることです。

当センターでは、電波暗室・無響音室・環境試験室・火災実験棟などの施設で試作機の評価を行っています。また、たとえばお客様が新工場に設置する防災システムで悩まれているときには、お客様のニーズをお伺いし、当センターの施設を使い、最適な感知方法や消火剤などをコンサルティングします。これができることも当社の大きな強みです。

### 社会の変化とともにリスクも変化していきますから、 研究開発に終わりはありませんね。

建物の構造や機能、素材の変化に伴って新たな火災リスクが生まれているので、そうした変化をウォッチしながら新しい技術を採用入れて、火災を確実に検知し、効率的な消火活動を行う、最新の防災システムを開発していきます。

## 被害を最小限に食い止めるだけではない お客様に感動していただけるプロのサービスを提供

**24時間365日、お客様に「安全・安心」を提供するBEの主な役割は何でしょうか？**

まずは、コントロールセンターの管制員からの指示で、異常が発生したご契約先に急行して安全を確保する「緊急対処」。そのほかには、センサーなどの各種セキュリティシステムの「保守点検」などがあります。

また、位置情報提供システム「ココセコム」のお客様からの要請で、人や車、物の検索を行います。また、現場急行サービス付き自動車保険「セコム安心マイカー保険」のお客様が自動車事故に遭われたとき、ご要請に応じて事故現場に出動するなど、業務は多岐にわたります。

**BEの行動次第でセキュリティシステムの質が決まります。緊急対処のときに肝に銘じていることは何ですか。**

BEは、お客様の安全確保が最大の使命です。慣れから生じる気の緩みは絶対に許されません。

そのため、対処を行う際にはコントロールセンターの指示を受けてから、ご契約先に急行して対処し、事業所に戻るまでは警戒心と緊張感を持ち続けることを心がけています。

**お客様を守ったという貢献事例を紹介してください。**

異常信号を受信し、対処に駆けつけたとき、外周点検をしてすぐに不審者を発見。大声で威嚇し、不審者を制圧。その後、コントロールセン



セコムのセキュリティシステムは、安全のプロによるサービスがその質を決めます。ご契約先で異常が発生したとき、ご契約先に駆けつけて対処する、事業所のBE(ビートエンジニア)をご紹介します。

東京本部南麻布営業所  
BE主任 栗巣浩次

*Koji Kurisu*

ターからの通報で駆け付けた警察官に引き渡し、現行犯逮捕につながったというケースがありました。


また、「ココセコム」の例では、老人ホームにご入居されている女性が行方不明になり、ココセコムオペレーションセンターで検索したところ何キロも離れたところを歩いていることがわかり、急行して安全を確保したこともあります。お客様に喜んでいただくことで、改めて社会の役に立つ仕事に従事している喜びを感じています。

**BEはお客様と接する機会が多いですね。心がけていることは？**

お客様から、われわれ自身が「セコム」と見られていることを自覚し、身だしなみはもちろん挨拶や話し方も礼儀正しくするように努めています。

保守点検などでお訪ねしたときには、犯罪動向などの話をしながら、必要に応じて安全強化の提案をするように心がけています。そのため、日頃から安全に関する知識の習得を怠らないよう努めています。そして、「お客様に感動していただけるプロのサービスの提供」をモットーにしています。

## 躍進し続けるセコムの中国事業 質の高いサービスでリーディングカンパニーを目指す

 日本にとって最大の貿易相手国であり、日本からの進出企業数もアメリカを抜いて第1位の国である中国。

その中国に、セコムが持株会社「西科姆(中国)有限公司」(以下、セコム中国)を設立したのは1992年。同社は日系企業で初の持株会社の認可を取得し、話題になりました。

翌年、セコム中国は大連の現地企業と合併で会社を設立し、中国では初となる企業向けオンライン・セキュリティシステムの提供をスタートしました。

そして、急速な経済発展に伴う都市部での犯罪の増加を背景に、セキュリティ需要が急伸している主要都市にセキュリティ事業会社10社を設立後も、販売、工事、常駐警備の会



社を設立。以降、オンライン・セキュリティシステムの提供地域を拡大し、現在では、18都市(北京、天津、大連、瀋陽、青島、上海、蘇州、無錫、昆山、杭州、寧波、アモイ、福州、深圳、廣州、東莞、成都、西安)

に広がっています。

当然ながら競争も激化。常駐警備を主体とする国営の警備会社のほか、民間および外資系のセキュリティ会社

の市場参入が続いていますが、そうした中でセキュリティの提供に必要な業務のすべてを一社で自己完結的に行うセコムの「トータルパッケージ・システム」は高く評価され、契約件数が急増しています。

とはいえ、主要都市の多くが一国に匹敵するほどの人口を擁する中国の潜在需要の巨大さを考えると、中国事業はまだ緒についたばかり。そのため、セコム中国ではセキュリティのリーディングカンパニーになるための布石として、まずは“セキュリティはセコム”というセコムブランドの浸透に全力を注いでいます。



北京京盾西科姆電子安全有限公司の緊急対応員



北京京盾西科姆電子安全有限公司のコントロールセンター

## セコムの環境保全活動

地球温暖化防止対策・最近のトピックス

### エコカーの推進

セコムは2008年より業務車両の環境対策を推進しており、2012年3月現在、ハイブリッドカーをはじめとする国が定めたアクションプランの対象となる低公害車は、セコムの全保有台数の約90%になりました。

エコカーの推進についてセコムは、国や自治体が主催するイベントにも積極的に参加。今年度は、「エコ&セーフティ神戸カーライフ・フェスタ2012」に参加し、大勢のお客様にエコカーならびにエコ安全ドライブへの理解と普及促進を目的とした活動を行いました。

### 環境省の「うちエコ診断」事業に参加

「うちエコ診断」とは、家庭の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を削減し、地球温暖化防止対策推進を目的とする環境省の基盤整備事業です。「うちエコ診断員」が、家庭のエネル



▲「うちエコ診断」を実施

セコムの環境への取り組みを伝えた  
「エコ&セーフティ  
神戸カーライフ・フェスタ2012」▶

セコムでは、あらゆる事業活動において、地球環境保全に配慮した行動をとることを「環境基本理念」とし、グループの総力を挙げて環境保全活動に取り組んでいます。



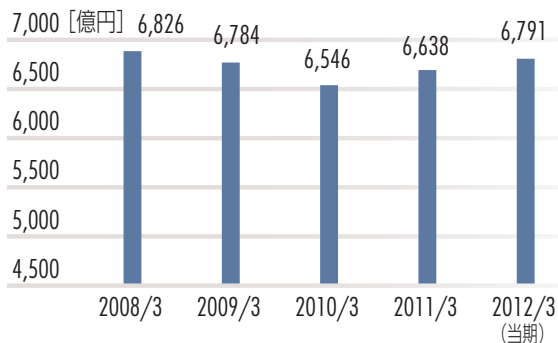
ギー使用量などを基に各家庭のCO<sub>2</sub>排出量を“見える化”し、省エネ・省CO<sub>2</sub>対策をアドバイスします。セコムはこの「うちエコ診断」の2011年度民間試行実施事業者に選ばれました。

「うちエコ診断員」の認定試験に合格したセコムの社員が、診断を希望された「セコム・ホームセキュリティ」のお客様のご自宅で診断を実施。お客様に「ちょっとした工夫でこんなに節電できるのね」と喜んでいただけたのはもちろん、「セコムは良い取り組みをしている」との評価をいただきました。

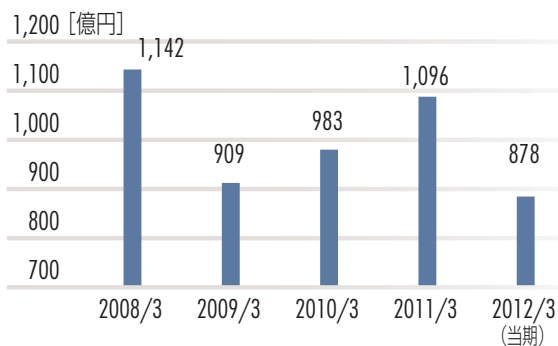
セコムでは、社会やお客さまとのコミュニケーションを通じて、今後もさまざまなアプローチで環境保全活動を進めていきます。

## 連結決算 業績ハイライト

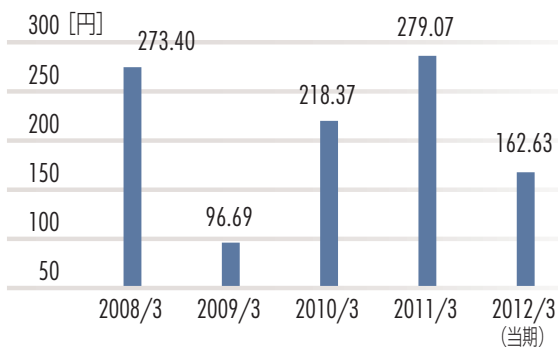
### 売上高



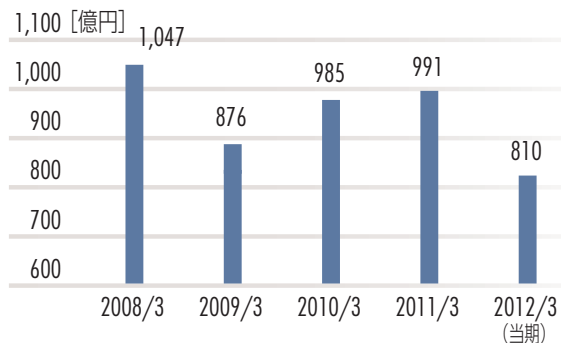
### 経常利益



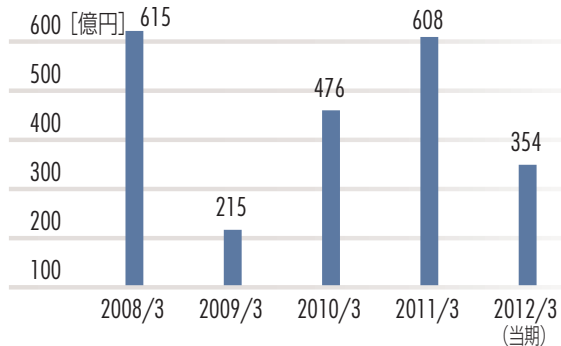
### 1株当たり当期純利益



### 営業利益

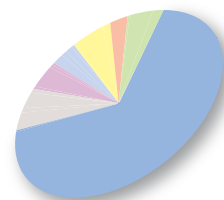


### 当期純利益



### 事業別売上高内訳 2012/3 (当期)

● セキュリティサービス事業	4,242 [億円]	62.5%
● 防災事業	806	11.9%
● メディカルサービス事業	429	6.3%
● 保険事業	341	5.0%
● 地理情報サービス事業	501	7.4%
● 不動産開発・販売事業	117	1.7%
● 情報通信・その他の事業	352	5.2%



# 連結貸借対照表(要旨)

2012年3月31日現在

<単位：億円> \*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 資産の部

<b>流動資産</b>	<b>5,034</b>
現金及び預金	1,824
現金護送業務用現金及び預金	540
受取手形及び売掛金	857
未収契約料	248
有価証券	199
リース債権及びリース投資資産	146
たな卸資産	237
販売用不動産	423
繰延税金資産	113
短期貸付金	43
その他	400
<b>固定資産</b>	<b>5,983</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,907</b>
建物及び構築物	979
警報機器及び設備	669
土地	1,044
その他	214
<b>無形固定資産</b>	<b>250</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,825</b>
投資有価証券	1,776
長期貸付金	461
前払年金費用	191
繰延税金資産	147
その他	247
<b>繰延資産</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>	<b>11,018</b>

## 負債の部

<b>流動負債</b>	<b>2,157</b>
支払手形及び買掛金	307
短期借入金	479
一年以内償還予定社債	59
未払金	276
未払法人税等	146
前受契約料	308
その他	579
<b>固定負債</b>	<b>2,145</b>
社債	96
長期借入金	107
預り保証金	382
退職給付引当金	125
保険契約準備金	1,278
その他	156
<b>負債合計</b>	<b>4,303</b>

## 純資産の部

<b>株主資本</b>	<b>6,410</b>
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	5,652
自己株式	△736
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△330</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>635</b>
<b>純資産合計</b>	<b>6,715</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>11,018</b>

## 連結損益計算書(要旨)

<単位：億円> \*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	当期 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)	前期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)	増減率
売上高	6,791	6,638	2.3%
売上原価	4,584	4,239	
<b>売上総利益</b>	<b>2,207</b>	<b>2,399</b>	△ 8.0%
販売費及び一般管理費	1,396	1,407	
<b>営業利益</b>	<b>810</b>	<b>991</b>	△ 18.2%
営業外収益	129	174	
営業外費用	62	68	
<b>経常利益</b>	<b>878</b>	<b>1,096</b>	△ 19.9%
特別利益	2	17	
特別損失	115	57	
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>765</b>	<b>1,056</b>	△ 27.5%
法人税、住民税及び事業税	320	373	
法人税等調整額	46	13	
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>399</b>	<b>669</b>	△ 40.3%
少数株主利益	44	61	
<b>当期純利益</b>	<b>354</b>	<b>608</b>	△ 41.7%

## 営業の概況(連結)

当連結会計年度における日本経済は、東日本大震災の影響による経済活動の一時的な停滞から、緩やかながら徐々に持ち直しつつありますが、欧州債務不安や原油価格の高騰、円高、デフレの影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、「安全・安心」に対する社会的ニーズは、ますます多様化・高度化しており、セコムグループは「いつでも、どこでも、誰もが安全・安心に暮らせる社会」を実現する「社会システム産業」の構築を目指し、セキュリティサービス、防災、メディカルサービス、保険、地理情報サービス、不動産開発・販売および情報通信・その他の事業で、お客様のニーズに合致した、質の高いサービス・商品を提供することに努めました。

これらの結果、当連結会計年度における連結売上高は6,791億円(前期比2.3%増加)となりました。営業利益は販売用不動産評価損207億円を計上したため810億円(前期比18.2%減少)、経常利益は878億円(前期比19.9%減少)、当期純利益は、固定資産の減損損失81億円、(株)パスコにおけるソフトウェア関連費用に関する和解金7億円を特別損失に計上したことなどにより354億円(前期比41.7%減少)となりました。

<参考> ●連結子会社数 172社  
●持分法適用関連会社数 26社  
●1株当たり当期純利益 162円63銭

## 連結株主資本等変動計算書(要旨)

2011年4月1日から2012年3月31日まで  
<単位：億円> \*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	株主資本					その他の 包括利益 累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当連結会計年度期首残高	663	830	5,497	△749	6,242	△320	618	6,540
剰余金の配当			△196		△196			△196
当期純利益			354		354			354
自己株式の取得				△ 2	△ 2			△ 2
自己株式の処分		△ 3		15	12			12
自己株式処分差損の振替		3	△ 3		-			-
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 10	16	6
連結会計年度中の変動額合計	-	-	155	12	167	△ 10	16	174
当連結会計年度末残高	663	830	5,652	△736	6,410	△330	635	6,715



## 貸借対照表(単体・要旨)

2012年3月31日現在

<単位：億円>

\*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

### 資産の部

<b>流動資産</b>	<b>1,928</b>
現金及び預金	826
現金送付業務用現金及び預金	523
未収契約料	143
売掛金	100
たな卸資産	66
短期貸付金	155
その他	112
<b>固定資産</b>	<b>5,066</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,162</b>
建物	164
警報機器及び設備	653
土地	285
その他	59
<b>無形固定資産</b>	<b>104</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,799</b>
投資有価証券	239
関係会社株式・出資金	1,921
長期貸付金	1,280
長期前払費用	240
前払年金費用	159
その他	△ 41
<b>資産合計</b>	<b>6,994</b>

### 負債の部

<b>流動負債</b>	<b>1,061</b>
買掛金	24
短期借入金	276
未払金	180
未払法人税等	39
預り金	220
前受契約料	223
その他	96
<b>固定負債</b>	<b>255</b>
預り保証金	180
退職給付引当金	39
役員退職慰労引当金	12
その他	22
<b>負債合計</b>	<b>1,316</b>
<b>株主資本</b>	<b>5,667</b>
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	4,909
自己株式	△ 736
<b>評価・換算差額等</b>	<b>10</b>
その他有価証券評価差額金	10
<b>純資産合計</b>	<b>5,677</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>6,994</b>

### 純資産の部

## 損益計算書(単体・要旨)

2011年4月1日から2012年3月31日まで

<単位：億円>

\*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

売上高	3,454
売上原価	2,033
<b>売上総利益</b>	<b>1,420</b>
販売費及び一般管理費	718
<b>営業利益</b>	<b>701</b>
営業外収益	80
営業外費用	30
<b>経常利益</b>	<b>752</b>
特別利益	230
特別損失	406
<b>税引前当期純利益</b>	<b>575</b>
法人税、住民税及び事業税	172
法人税等調整額	134
<b>当期純利益</b>	<b>268</b>

<参考> ●1株当たり当期純利益 122円90銭

## 会社概要

### セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1

Tel: 03-5775-8100 Fax: 03-5775-8902

- 資本金 66,377百万円
- 社員数(グループ総数) 50,757名(2012年4月1日現在)
- 事業内容

1962年、日本初の警備保障会社として創業。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

2001年からは、移動する人物・車輜向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システム、各種安全商品などの販売を通じて、社会に安全・安心を提供しています。

セコムグループは、社会にとって安全・安心で、便利で快適なサービスシステムを次々に創造し、それらを統合化・融合化して、トータルな新しい社会システムとして提供する「社会システム産業」の構築を目指しています。

### 取締役(2012年6月26日現在)

取締役(最高顧問)	飯田 亮
取締役(最高顧問)	戸田壽一
取締役会長	木村昌平
代表取締役社長	前田修司
取締役副社長	佐藤興一
常務取締役	中山泰男
常務取締役	伊藤 博
常務取締役	安齋和明
取締役	原口兼正
取締役	吉田保幸
取締役	中山潤三

### 監査役(2012年6月26日現在)

監査役(常勤)	坂本正治
監査役(常勤)	桑原勝久
監査役(社外)	常松 健
監査役(社外)	山下耕平
監査役(社外)	加藤秀樹

\*監査役 常松健を独立役員として証券取引所に届け出ております。

### 執行役員(2012年6月26日現在)

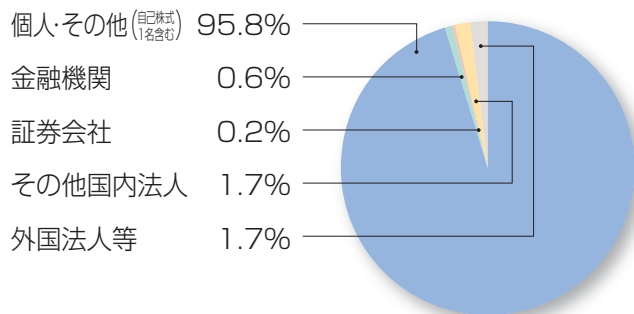
代表取締役社長	前田修司
取締役副社長	佐藤興一
常務取締役	中山泰男
常務取締役	伊藤 博
常務取締役	安齋和明
常務執行役員	小河原俊二
常務執行役員	中村直英
取締役	吉田保幸
取締役	中山潤三
執行役員	伊東孝之
執行役員	高岡 実
執行役員	森下秀生
執行役員	小松崎常夫
執行役員	小松良平
執行役員	角田幸生
執行役員	竹田正弘
執行役員	吉村輝壽
執行役員	新井啓太郎
執行役員	布施達朗
執行役員	園田博道
執行役員	向井俊之
執行役員	石川 博
執行役員	古川顕一
執行役員	杉本陽一

# INFORMATION

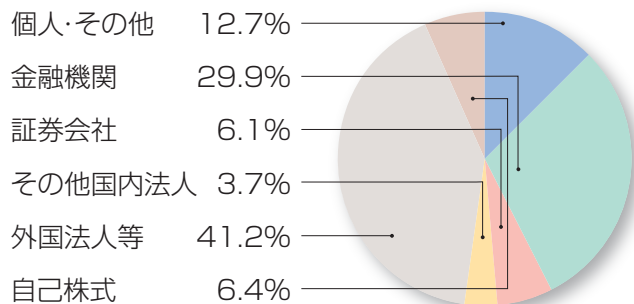
## 株式の状況(2012年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,288,717株
3. 単元株式数 100株
4. 株主数 29,118名
5. 所有者別状況

### ●株主数比率



### ●株式数比率



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月下旬
- 剰余金配当の基準日 3月31日
- 中間配当制度 なし
- 上場証券取引所 東京、大阪
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告

<http://www.secom.co.jp/koukoku/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座管理機関

## 株式に関する各種お手続きについて

証券会社に口座がある  
株主様は…

▶ 口座がある証券会社へ  
お問い合わせください。

特別口座に記録されている株式の  
株主様は…

▶ 下記の特別口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。

未払い配当金のお支払いに関する  
お問い合わせは…

▶ 下記の株主名簿管理人  
三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関 **三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部**

〒137-8081  
東京都江東区東砂7丁目10番11号

☎0120-232-711 [平日 9:00~17:00]

手続用紙のご請求

☎0120-244-479 (音声自動応答)

インターネットからのダウンロード

<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

## お客様とセコムをつなぐホームページ セコムのホームページをリニューアル!



セコムのホームページは、お客様からお問い合わせやご要望をいただいたり、サービスや商品の資料請求をいただいたりと、お客様とセコムをつなぐ大切なツールです。

近年では、ご自宅のパソコン以外に、タブレット型パソコンやスマートフォンなどを利用してインターネットをご覧になるお客様も多くいらっしゃいます。そこで、いつでも、どこでも、セコムからお届けする最新の「安全・安心」情報をご覧いただき、お探しの情報を素早く見つけれられるように、ホームページをリニューアルしました。

また、セコムのホームページは、お子様・女性・シニアの防犯対策や、最新の犯罪動向から、セコムが提案する快適な暮らしやこだわりの美食などを紹介する「セコム安心マガジン」など、生活に役立つ情報も満載です。

セコムはホームページもお客様との大切なコミュニケーションツールであると考えて、日々お役に立てる情報をお届けいたします。

[www.secom.co.jp](http://www.secom.co.jp)

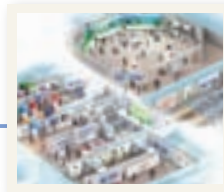
セコム

検索

### 表紙写真のご説明

ALL SECOM  
セコムフェア  
2012

セコムの創立50周年を記念し、日ごろお世話になっているお客様などに感謝の気持ちをお伝えするとともに、セコムが考える近未来の「安全・安心」をご紹介しますフェアを開催。セコムグループのセキュリティ、防災、メディアカル、保険、地理情報、不動産開発・販売、情報通信・その他のサービスやシステムをご紹介します。



本誌は環境に配慮し、FSC認証紙および植物性インキを使用しています。